

百歳賀寿 未永く お元気で

●塚原 武晴さん (写真：上)

船引町東部台の塚原武晴さんが、1月20日に満百歳を迎えられました。

若い頃からカメラが趣味でパソコンも操作することから、老人クラブの会報作りなど積極的に携わっていたそうです。

「体を動かすこと」が長寿の秘訣だそうです。



●渡邊 イシさん (写真：下、代理受領：渡辺忠義さん)

滝根町菅谷の渡邊イシさんが、1月28日に満百歳を迎えられました。

家族によるとイシさんは、スポーツ番組をよく観ているので選手の名前に詳しく、毎日新聞を読むのが日課だそうです。

「粗食であること」が長寿の秘訣と話されていました。

贈呈式は長男の渡辺忠義さんが代理で受領しました。



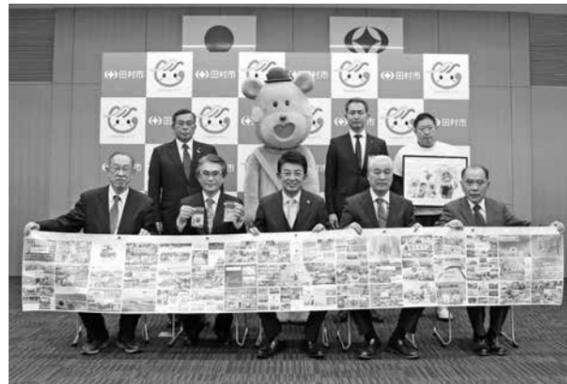
福島県、田村市、田村市社会福祉協議会などからお二人に賀寿や祝金が贈られました。

出発式 ひまわりとそばの種、復興を願い宇宙へ

1月28日、東日本大震災からの復興や支援への感謝を宇宙から世界に発信する「東北復興宇宙ミッション2021」で国際宇宙ステーションに送られる、ひまわりとそばの種の出発式が市役所で行われました。

市長が牧野ひまわり会から提供頂いたひまわりの種と、田村市常葉そば生産・製粉研究会から頂いたそばの種を一般財団法人ワンアースの長谷川洋一代表理事(写真：市長の左隣)に手渡しました。

7月頃に宇宙から帰還する種は、学校で宇宙に関する授業や、種まきのイベントなどで使用する予定です。



研修会 たばこを取り巻く環境を学ぶ

2月4日、船引町たばこ耕作振興協議会研修会が市役所で開かれました。講師に全国たばこ耕作組合中央会調査役の渡辺善光さん(船引町)をお招きし、たばこを取りまく環境について講演いただきました。

世間の状況により、たばこ耕作は厳しさを増していますが、耕作者や販売者、消費者、周りのみんなが共感できる環境について学びました。



田村の極 ブランド産品 PR 販売会 in JA ふぁせるたむら

昨年12月26・27日、田村市ブランド産品PR販売会がJAふぁせるたむらで開かれました。

ブランド産品には「田村の極」のシールが貼られ、ひと目でブランドと分かるよう表示し販売されました。

福うなぎおむすび、エゴマ油(生搾り・焙煎搾り)、エゴマキャラメル、エゴマ豚みそ、荒びきウインナー、ベーコン、ゆいプリンリッチ、おからショコラ、黒米甘酒、あぶくまの天然水などがPRされ、来場者は地元を代表する産品を再認識していました。



感謝状贈呈 死亡事故「ゼロ」2000日達成

大越管内が昨年11月2日に死亡事故「ゼロ」2000日を達成しました。

1月15日、交通安全協会大越支部の無事故祈願が大越町下大越の遙拝殿で行われ、その席上で感謝状贈呈式がありました。

贈呈式では、平子誠小野分庁舎所長から生天目好一支部長に啓蒙活動に対する感謝状が伝達されました。

今後も母の会等関係団体と協力し、事故防止活動を行いながら、安心安全なまちづくりに努めていくことを再確認しました。



女性学級 体と向き合いながら、丁寧にほぐす!

1月17日、2月27日、「田村でVトレ®」が市総合体育館サブアリーナで開かれ、各回約30人が参加しました。講師にダイエットインストラクターの湯座聖美さんをお招きし、「Vトレ」というオリジナルのエクササイズをご指導いただきました。前半はテニスボールを使って足の裏から頭の先までほぐし、後半は軽快な音楽に合わせて、骨盤周りの筋肉に働きかけるエクササイズを行いました。多くの参加者が「体が温まった」と血行が良くなったことを実感していました。



文化財防災訓練 堂山王子神社で防災訓練

1月24日、第67回文化財防火デーに伴う防災訓練が船引町門沢地区にある国指定重要文化財堂山王子神社で行われました。

地域住民、消防団員、消防署員ら約50人が参加し、通報や放水などの訓練を行い、消火活動の手順を確認し文化財保護への意識を高めました。

1949年(昭和24年)1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したことを契機に文化財防火デーが制定され、1月26日を中心として全国各地で文化財施設の防火・防災訓練が実施されています。

